

## 前回地域医療構想に関するワーキンググループにおける主な意見

### 議題：地域医療構想の実現に向けた一層の取組について

- 例えば、ある術式の手術は、公立・公的で何例やっていて、同じ構想区域の民間で何例やっていて、この民間医療機関でも、公立・公的の症例数は十分こなせる能力がある、余力があるといったときは、これは競合していると。具体的に言うと、そういう議論になってくるのだろうと思う。
- 公立病院、自治体病院は、人口3万人以下のところが3割、10万人以下のところが約7割近くという状況。そういったところであれば余り競合はないだろうと考えている。
- （公立・公的医療機関の立場でいう）民間医療機関が担えないような高度先進医療に特化しろという話をされると、山にたとえると、山のてっぺんだけやれということとして、山のてっぺんだけというのは、医療の世界ではあり得ないと、裾野がなければてっぺんに向かっていくことはできないと、我々としては、どうしてもそういう風に考えざるを得ない。  
裾野があって初めて、高度専門的な、山で言えば頂上のことが可能になると考えておりまますので、その裾野の領域といいましょうか、あるいは中腹まででもいいのです、7合目まででもいいのですけれども、そういったところが民間の医療機関とどういうふうにすみ分けできるかという問題なのだろうと考えている。
- 全国の公立病院の再編・統合を見ていると、わざわざ統合して、ほとんど病床数が変わらない病院をつくっているというのが目につく。
- 必要病床数だけではなかなか経営体制の問題というのが捉えられない。それぞれが等しくダウンサイ징していて20、30床ずつ減らしていったりとか、機能を地域包括ケア病棟に転換するとか、再編・統合や機能の集約とか、必要病床数では必ずしも明らかにならない部分がある。
- （公立病院における政治的影響について）病床利用率が低下しても、なかなかダウンサイ징とか、再編・統合には消極的である。病床利用率が低下しているところも医師不足で患者数が減っているのだということで、むしろ配置する医師を増やしてくれといったような話が出てきたりしている。
- 都道府県内においても、医療政策担当部局と病院事業担当部局との間で、利益相反のようなところがあつて、必ずしも県立病院自体が地域医療構想の方向性と合った行動をしているとは思えないような場合もあったりする。
- 再編・統合は必要なだけれども、いつ旗を振るのかとか、病院の機能は医師の配置次第だから、自分たちからはなかなか動かないとか、地域包括ケア病棟につい

てはしご外しに遭うのではないかといった将来の経営の不安から、わかってはいても当面は様子見の構図といったこともあり、このあたりの問題を解消する必要がある。

- 人口もどんどん減少し、それほど急性期の密度が高くなるような患者が増えにくくとは思われないような地域において、病院の移転、改修の議論などをしてると、検討委員会でそんなに急性期機能をばりばり充実させるというよりも、むしろ現状維持ぐらいからもう少しダウンサイ징する必要があるだろうという意見が出ていたにもかかわらず、その病院を設置している自治体の長の最終的な判断によって、地域救命救急センターを新たに設置したりとか、診療科も10近く増やしたり、医師数ももっと増やさないといけないなどの話がでてきて、最後にそういう方向に修正されることがある。明らかに地域医療構想の方向性とずれる部分が感じられるが、それが首長の意向によって変更されることがある。
- （自治体病院が首長の意向に左右されることについて）ダウンサイ징に消極的であることや、依然、拡大路線ということは、交付金や補助金がある限りは続くのだろうと思う。そういう意味では、そこら辺は調整会議でも把握する必要があると思う。地域で公的病院しか担えない機能については集中的に交付金を出してもいいと思うが、根本的に見直さないと、結果的に幾らでも赤字がかわせるのであれば、改善されないのでないか。
- 自区域の病床機能報告データのみで議論すると、2025年の病床の必要量と病床機能報告の機能別の病床数との「数あわせ」に終始してしまい、改善点を見いだせない。地域の個別性はあるものの、目指すべき医療提供体制を具体的にイメージできるよう、地域の実情を考慮した構想区域や医療機関の類型化や指標の作成等の分析の定型化が必要だと考える。
- 各医療機関が実際に提供できる医療機能や、各圏域の医療提供体制を踏まえて、プランは適宜修正されることが望ましいと思う。1回作ったら終わりではなく、不斷の見直しが必要と考える。
- （人口推移等のデータより）もっと大事なことは、各病床機能あるいは病院の機能でどの程度の患者さんが入院されているのか具体的な数値をここに（調整会議に）出す必要があるのではないかなど、前々から思っている。その辺について、もう少し詳しい情報分析、データ分析が必要になるのではないか。

（以上）